



やさしい気付きから
やさしい行動へ



今回の号は中に社協だより大学連携版が折り込まれています。
ぜひご覧ください！

〔表紙〕 神山小学校
高齢者疑似体験と車椅子体験

社会福祉法人 越前市社会福祉協議会 info@echizen-shakyo.or.jp (代表メール)

- 総務管理部 越前市杉尾町1-27-1 TEL 0778(42)0300 FAX 0778(42)0062
- 地域福祉部 越前市府中1丁目11-2 TEL 0778(22)8500 FAX 0778(22)8866
- 介護福祉部 越前市矢船町8-12-1 TEL 0778(22)5151 FAX 0778(22)8011

越前市社協

検索

社会福祉協議会事業内容、
決算等が掲載されています。



この広報誌は赤い羽根共同募金の助成金を受けて発行しています



越前市社協
ホームページ

令和2年度

運動
期間

赤い羽根共同募金：10月1日～3月31日
歳末たすけあい募金：12月1日～12月31日



みなさまからお預かりした募金は、越前市においてさまざまな福祉活動に役立てられます。

今年度も多くの皆さまのご協力とご理解ありがとうございます!!



越前市共同募金委員会では、赤い羽根共同募金へご協力を
いただける企業・団体・店舗を募集しております!

令和2年度 ご協力いただいた一例(順不同・敬称略)

協賛店として

しきぶ温泉 湯楽里 / レストラン ジャムハウス
クールディーズ カフェ / 越前そばの里
たかせや / PAUTH CAFE(ポース・カフェ)

職域募金として

アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社 / アイシン・エイ・ダブリュ工業労働組合
アクサ生命株式会社 / 越前市役所 / 信越化学工業株式会社 武生工場 / 武生商工会議所
武生ロータリークラブ / 武生府中ロータリークラブ / 南越消防組合
福井村田製作所 労働組合 / 北陸電力株式会社 丹南支店
北陸電力送配電株式会社 福井支社 丹南配電部・丹南電力部

募金実績(1月末現在)

赤い羽根共同募金
7,881,717円

歳末たすけあい募金
5,455,295円

募集

令和4年度 共同募金助成事業申請団体を募集します

●助成対象団体

越前市内の特定非営利活動法人、福祉団体やボランティア団体
で、通常の活動場所が越前市内であること。

●助成対象事業

公的補助金や他の財源で賄うことができない次の事業

- ①地域福祉の推進を目的とした事業
- ②ボランティア活動の振興を目的とした事業
- ③その他、共同募金運動の趣旨に調和し、本会が認めた事業

●助成対象事業実施時期

令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)に実施
する事業

●助成金額

- ①1事業10万円以内(対象経費の75%を限度とする)
- ②1団体あたり10万円を限度とする。ただし、募金実績及び
助成対象事業の決定数等により、助成金額の限度額を引き
下げることがある。

●募集期間

令和3年4月1日～令和3年5月31日

詳しい募集内容については、公民館、越前市社会福祉協議会窓
口に設置されている募集チラシ・公募要領(3月中に設置の予定)
をご覧ください。また越前市社会福祉協議会ホームページにも
掲載いたしますので、併せてご確認ください。

赤い羽根共同募金活動に関して、気になる
ことがあればお気軽にご連絡ください!

【お問合せ先】越前市共同募金委員会事務局 TEL (0778) 42-0300
〒915-0221 福井県越前市杉尾町1-27-1(越前市社会福祉協議会内)

※「地区ネットワーク会議」からのフードドライブの取り組み※

東地区より近況報告

昨年11月、東地区福祉ネットワーク会議において、「もったいないを見守り活動につなげるフードドライブ」と題した、誰もが気軽にできるボランティアである「フードドライブ」についての話を聞きました。参加者からは、「いい活動だ。協力したい」「町内で検討したい」等の声があがったのを受け、手始めに東公民館で実施することにしました。今年1月より回収ボックスを公民館ロビーに設置しました。集まった食品は民生委員を通して、東地区の必要とされているお宅へ届ける予定です。この取り組みがどんどん広がることを期待しています。

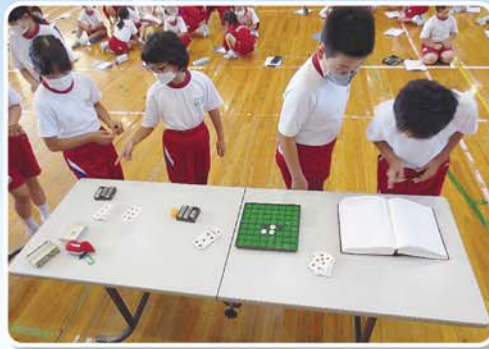


東公民館に持ち寄られた食品

福祉学習会 活動報告

コロナ禍でも感染予防対策を行いながら、福祉学習を進めました!!
ボランティアめぐりえ・車いす・高齢者疑似体験・手話・点字など様々な福祉体験を通じて思いやりの心を持つ大切さを学び合いました。

吉野小学校



点字トランプ、
オセロに触れて
みました。

大虫小学校



手話を楽しく
学びました。



服間小学校



盲導犬と生活
されてる方
のお話を聞きました。



【お問合せ先】越前市社会福祉協議会 地域福祉部 TEL (0778) 22-8500

しょう 笙ネット 活動報告

越前市地域公益活動推進協議会

愛称：しょう
笙ネット

よりそい運営委員会主催にて講演会を開催しました!



笙ネットとは

越前市内全 19 社会福祉法人が連携・協働し、
地域福祉の充実を図ることを目的としています。

"ひきこもり研修会" (オンライン同時配信も実施)



令和2年11月16日(月)越前市福祉健康センター4階多目的ホールにて、一般社団法人福井コミュニティ協会理事長・臨床心理士・坂井市相談員の田中和代氏を講師にお迎えし、『ひきこもりへの心理的支援』と題して研修会を開催しました。ひきこもり支援に必要なスキルとして、信頼関係を築くこと、話を聴く時のポイントの説明があり、その後親子の関係が良くなる会話のロールプレイで実践的に学ぶことができました。当日は新型コロナウイルスによる感染拡大防止策として、会場での受講と併せ、オンライン参加も可能として Zoom アプリによる同時配信も実施しました。参加者からは、時間的な余裕もあり安心して参加できた、親子の会話は子育てにも大変参考になる、などの声が寄せられました。

オンライン同時配信の様子

越前市
児童館
児童センター

児童館・児童センターに

遊びにおいで!



児童館・児童センターは、地域子どもたちの遊び場です。放課後や学校が休みの土曜日、長期休暇時、誰でも自由に来館できます。
一人で遊びに来ても、たくさんお友達がいるのでいろんな学年が仲良く楽しく遊ぶことができます。
また、就園前の親子を対象に赤ちゃん教室や親子教室も行っています。
詳しい内容や日程は、各児童館・児童センターにお問合せ下さい。

児童クラブ



たくさんの方の協力で、川の生き物調査に出発!! 普段なかなか出来ない体験に子どもたち大喜びでした!



LaQ やコロコロコースター みんなで仲良く遊んでるよ!



お菓子いっぱい嬉しいな☆

一般行事



何色のスーパーボール取ろうかな〜!



美味しいごはん作るよ!



さつまいもみつけた! 大きいおいもかな?

親子教室



ベビーマッサージ 気持ちいいよ〜



お母さんのリフレッシュヨガのびて〜気持ちいい



頑張ってワニやカバがいるジャングル村を探検したよ♥

利用料金・利用時間は各クラブによって異なりますので、直接お問合せください。

お問合せ先 ~市内放課後児童クラブ一覧~

- | | | | | | | | | |
|------------|-------------|----------|------------|------------|----------|------------|------------|----------|
| ●武生東児童センター | 国府二丁目16-8 | ☎24-5229 | ●北田野児童センター | 小野谷町1-13 | ☎22-1176 | ●くしら組 | 村岡一丁目9-8 | ☎23-0983 |
| ●武生西児童センター | 中央二丁目4-10 | ☎23-4893 | ●味真野児童センター | 池泉町14-1 | ☎27-8998 | ●そよかぜ児童クラブ | 高木町12-7-1 | ☎24-0340 |
| ●武生南児童センター | 武生柳町11-28 | ☎23-5892 | ●岡本児童館 | 定友町10-15 | ☎43-0974 | ●わかたけ児童クラブ | 高森町18-7-2 | ☎22-6203 |
| ●神山児童館 | 広瀬町102-41 | ☎42-5573 | ●南中山児童館 | 西庄境町21-7-1 | ☎43-0991 | ●うさぎクラブ | 新保町32-10 | ☎22-7151 |
| ●吉野児童館 | 本保町19-9-1 | ☎29-3230 | ●服間児童館 | 藤木町12-43 | ☎43-1722 | ●坂口ひだまりクラブ | 湯谷町25-25-2 | ☎28-1123 |
| ●国高児童センター | 国高二丁目325-3 | ☎21-5055 | ●てまり | 平出一丁目12-37 | ☎22-0305 | ●いちばんぼし | 上大坪町28-3 | ☎27-2203 |
| ●大虫児童館 | 丹生郷町13-20-4 | ☎25-0770 | ●いるかクラブ | 若竹町12-23 | ☎22-3214 | ●ふたばキッズ | 五分市町3-6-1 | ☎27-1328 |
| ●王子保児童センター | 四郎丸町55-4-4 | ☎24-2299 | ●ほしクラブ | 文京二丁目4-3 | ☎23-5203 | ●しらやま学童クラブ | 都辺町24-2 | ☎29-2150 |
| ●北新庄児童館 | 北町54-25 | ☎42-7601 | ●わくわく | 氷坂町14-2-1 | ☎23-0030 | ●粟田部学童ルーム | 粟田部町46-2 | ☎42-0493 |

児童館との約束

- ・マスクをしてきましょう
- ・遊びに来るときは水筒(お茶)、汗拭きタオルを持ってきましょう
- ・貴重品(ゲーム・スマホ・お金)は持ってこないようにしましょう



《ボランティアグループの紹介》

武生ビデオクラブ
映遊 代表 田中寿夫



◇活動内容◇

現在ダム建設により移転した小野町、勝蓮花町の記録ビデオを作成。この記録を編集してDVDを作成し、小野、勝蓮花の関係者および市民の皆さんに広く発表しており、図書館に寄贈しています。

～もう見る事ができない、2集落の貴重な記録～

「小野勝蓮花物語制作委員会」写真集とDVD映像6巻を発刊



武生ビデオクラブ映遊
【お問合せ先】 23-0398

《ボランティアグループの紹介》

武生民謡やあしき保存会 代表 田中寿夫



◇活動内容◇

昔から丹南地区に伝わる、やあしき音頭を通じて、地域の人達と心の交流を目的に活動しています。



～箆笥街祭りの風景～

南越加賀山会様と民謡を3曲歌った後に武生民謡やあしき保存会の音頭と踊りで会場を盛り上げていました。

武生民謡やあしき保存会
【お問合せ先】 23-0398

令和3年度
ボランティア活動保険のご紹介

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガなどを補償します。

【保険期間】

加入日の翌日～令和4年3月31日まで

【保険料例】

基本タイプ 350円 / 1名・年間

💡 保険料の助成について

安心して活動できるようボランティアの皆さんの保険料負担を軽減します。(1名あたり350円を助成)

【対象となる条件】

- 1 越前市社協にボランティア登録している団体・個人
- 2 主な活動場所が越前市内である
- 3 官公庁その他団体から運営に関する助成等を受けていない

📞 【お問合せ先】 越前市社会福祉協議会 ボランティアセンター TEL (0778) 22-8500 📞

障がい者就労支援事業所のご紹介

セルプえちぜんではいろんな物を紹介・販売しています!

総合福祉支援事業所 わかたけ

ご要望に沿った自由画帳、スケッチブック、和紙を使ったメモ帳やオリジナルシールを制作致します。



もっと知りたい! 聞いてみたい! と思ったら

就労継続支援 A 型 株式会社ウェルファーム

越前たけふ菌床しいたけ「こたろう」

日野山のふもとの地下水を使い、菌床生しいたけ「こたろう」を年間を通して生産しています。県内デパート、スーパー他、ご贈答用にも対応いたします。肉厚の食感とクセのない旨味をぜひご賞味ください。



弊社 HP <https://wel-farm.com/>

👉 越前市社会就労センター協議会(担当:大森) (0778)23-6855へ! 越前市府中2-2-19

- 地域包括支援センター
- 介護予防や介護・福祉に関すること
- 介護予防プランの作成
- ケアマネジャーからの相談・支援
- 虐待の不安など権利を守る取り組み

地域包括支援センター

☎0778(2)6111

介護福祉部 介護支援センター 芦山

越前市自立相談支援センター

- 生活に困窮している方の総合相談及び自立支援
- ボランティア活動に関すること
- ボランティア活動希望者・グループの登録
- ボランティア情報の提供、活動幹旋
- 児童生徒の福祉教育に関する相談や情報の提供

ボランティアセンター

- 在宅障がい児者の生活支援に関すること
- 社会参加に関すること

相談支援センター ゆい

高齢者・障害者日常生活自立支援センター

- 判断力が不十分な高齢者・障がい者の福祉サービス利用援助と日常的金銭管理に関すること

心配ごと相談

職場・家庭・人間関係など日常生活の悩みごと相談
月～金曜日(祝日は休み)
午前8時30分～午後5時
市民プラザたけふ4階
電話相談も可能です

無料法律相談 弁護士が相談に応じます

毎月第1・3木曜日(祝日は休み)
午前9時30分～12時(受付時間9時15分～11時30分)
市民プラザたけふ3階 中会議室②
先着10名まで

相談日の一週間前から電話予約ができます。

地域福祉部(武生事務所) 市民プラザたけふ4階

市民プラザたけふの駐車場 ☎0778(2)8500
をご利用ください。

お気軽にご相談
ください
社協の相談ご案内



越前市自立相談支援センター /

くらしごと さぽーと

「生活困窮者自立支援法」に基づき設置する「自立相談支援機関」

あなたや、あなたの周りの人の「困りごと」について、一緒に考えに寄り添いながら支援していく窓口です。大丈夫です。1人で悩まないで、お気軽にご相談ください！

支援サポート

秘密厳守

生活が苦しく家賃が払えない

悩みがあるけど相談できる人がいない

働いたことがなくて不安

お金のやりくりができない

・仕事がなかなかみつからない
・仕事が続かない

子どもが無職で将来が心配

相談無料

支援内容の例

家計改善支援事業

家計の状況を「見える化」し収支バランスを一緒に考え家計改善の意欲を引き出します。(貸付のあっせん等を含む)

日常生活緊急援助事業

日常生活に支障をきたしている場合は、緊急的に食料品や日用品などを提供します。

住居確保給付金(申請受付)

住居を確保し、就職活動を支えるために、一定期間家賃相当額を支給(市から貸主へ振込)します。
※上限額あり

就労準備支援事業の活用【市事業】

社会、就労への第一歩として「長い間就労していない」「コミュニケーションが苦手」などの方に対するサポートです。就労への不安がある人に対して就労体験などを行い、社会参加を目指します。

学習支援事業の活用【笹ネット事業】

家庭・学習環境に課題がある場合は、専門機関や団体により子どもの学習支援を実施します。

※事業によっては、一定の資産収入等の要件があります。

【お問合せ先】越前市社会福祉協議会 地域福祉部
月～金曜日(祝日・年末年始を除く)午前8時30分～午後5時
TEL (0778)22-8500 FAX (0778)22-8866
Mail info@echizen-shakyo.or.jp

しあわせねっと

ご存知ですか？福祉サービス利用援助事業



福祉サービス利用援助事業(しあわせねっと)では、認知症高齢者、知的障がい・精神障がいなどのある方、その他生活に不安のある方々が、できるだけ自立して地域で生活がおくれるよう、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理などのお手伝いをします。

社会福祉協議会の専門員が困りごとや悩み事の相談に応じます。お気軽にご相談ください。

こんなことをお手伝いさせていただきます

1. 福祉サービスを「あんしん」して利用できるようにお手伝いします。
さまざまな福祉サービスの利用に関する情報の提供、相談など
2. 毎日の暮らしに欠かせない、お金の出し入れをお手伝いします。
利用料金、公共料金、医療費などの支払の手続き、預貯金の出し入れなど
3. 日常生活に必要な事務手続きをお手伝いします。
市役所へ提出するような書類手続き、苦情処理制度(クーリングオフ制度など)の利用手続きなど
4. 普段は出し入れしないような金融機関の書類等を貸金庫を利用してお預かりします。
定期預金通帳、証書、実印など

【利用料金】1回1時間以内の支援 1,200円
貸金庫利用 500円/月

福祉サービス利用援助事業の中で生活支援員としてご活躍頂けるボランティアの方を「募集しています。」興味のある方はぜひご連絡下さい。



【お問合せ先】越前市社会福祉協議会 地域福祉部
TEL (0778) 22-8500

募集

職員 および パート職員 募集のお知らせ



社会福祉協議会では、児童館職員・デイサービス看護職員・介護福祉士・ホームヘルパー・ケアマネジャーを募集しています。詳しくは「越前市社会福祉協議会」ホームページでご確認下さい。

11~12月

善意の寄付

- ★ 奥村 武男 様 おもちゃ5個、カメラ三脚1点、厚紙12枚
- ★ 越前市婦人福祉協議会今立地区 様
タオル41枚、燃やせるごみ袋(大)20枚、
プラスチックごみ袋(大)20枚、石鹸15個
- ★ 南越特別支援学校 柏崎 研二先生、高等部3年 様 椅子(2脚)
- ★ 北陸電力株、北陸電力送配電株 様
はがき154枚(50円×83枚、52円×29枚、62円×32枚、
63円×10枚)、切手11枚(63円×9枚、52円×2枚)、
テレホンカード26枚、図書カード1枚、【合計192点】
- ★ 民謡サークル「いこいの会」様
リザーブフラワー1点、ティッシュボックスカバー1点、ティッシュケースカバー2箱

- ★ 玉村 勝弘 様 米30キ口5袋
- ★ 越前市地域広域活動推進協議会 様 20,000円
- ★ 福井村田製作所労働組合 様 100,000円
- ★ 今立明るい社会づくり推進協議会 様 60,000円
- ★ 越前市武生明るい社会づくり推進協議会 様 87,158円
- ★ 匿名4名様
米30キ口3袋、コーヒーカップ18個、皿(白色)19枚、茶托(木製)17個、グラス(透明)13個、ゆのみ(透明)14個、
ゆのみ19個、100,000円、1,000円

ご寄付いただいた方々のご意思に基づき、市内の各種福祉事業のために有効に活用いたします。ありがとうございました。

10~12月

たすけあい銀行

- ★ 株式会社東商サービス 様 掃除機1台、電子炊飯ジャー2台
- ★ 光川 弥士郎 様 玄米120kg
- ★ 福井県民生協「ハツたけひ」 様 食品、飲料等819点、お米300kg
- ★ 矢敷 喜一 様 玄米50kg
- ★ 高橋 末男 様 洗濯洗剤1箱と2袋、シャンプー・リンス各1本
- ★ 榊福井村田製作所 様 食品、文具等1,500点
- ★ 飯塚モーターズ 様
靴下7足、台所洗剤1個、テレビリモコン1個、エコバック2個、
正座用クッション1個、コースター2個
- ★ 越前市婦人福祉協議会 今立地区 様
カイロ23個、詰め合わせセット8セット
- ★ 中村 信一 様 玄米30kg
- ★ 株式会社スター 様 玄米120kg、お菓子詰合せ10袋
- ★ 法明寺 近江正典 様 点字カレンダー16点
- ★ 山根 和夫 様 玄米60kg
- ★ 堀 幸雄 様 お菓子2箱、ラーメン2袋、わかめ1袋、スープ2袋
- ★ 古屋 美里 様 レトルト5袋、缶詰3個、砂糖1袋
- ★ 山崎 敏弘 様 玄米30kg
- ★ NPOえちぜん 様 扇風機2台
- ★ 福井県農業協同組合 丹南基幹支店 様 もち460パック
- ★ 北陸電力株・北陸電力送配電株 様 食品583点、お米40kg
- ★ 越前らくひょうしぎの会 様 食品45点、お米2kg
- ★ 匿名26名様
玄米450kg、精米19.5kg、手作りマスク96枚、男性肌着
半袖上3、半ズボン下3、長袖上2、長ズボン下4、靴下15足、
女性肌着長袖上2、紙パンツ8袋、おしりふき7個、パンツ5袋、
ベトボトル2本、カップ麺1個、粉類3袋、ジュース類2本、
だし類10個、ティッシュ5箱、ポケットティッシュ32個、しょう
ゆセット1箱、だしセット1箱、肌着2枚、カゴ3個、麦と
ろそば5袋、のり1袋、レトルトカレー1箱、カップ米2個、
カパン2個、ウエストポーチ7個

生活困窮世帯や介護を必要とする世帯、福祉施設等にお渡ししています。

お餅の寄付をいただきました!

福井県農業協同組合 丹南基幹支店様よりお餅460パックの寄付を頂きました。今立地区の65歳以上のひとり暮らし世帯へ民生児童委員様の協力のもと配布させていただきました。



フードドライブ寄付品の贈呈

北陸電力株様/北陸電力送配電株様より令和2年12月11日~18日、丹南電気ビル所属の社員約170名に食品の持ち寄り呼びかけ、フードドライブを実施されました。



越前らくひょうしぎの会様より武生南児童センターにて、紙芝居と食品のプレゼントをいただきました。

家族に介護が必要になったら

「介護疲れから介護殺人へ」 介護疲れ 介護ストレス を軽減するために

最近になって介護疲れを背景にした家庭内の殺人事件が相次いでいます。

「毎日毎日世話をしなければならず介護に疲れてしまいました」(介護者の本音)

毎日休みなく続く介護により、介護者の多くが介護疲れを感じています。終わりの見えない介護生活の中でストレスを抱え続け、「消えたい」「逃げたい」と限界を感じている方もいらっしゃると思います。

「介護うつ」や「介護放棄」、最悪なケースに至れば「介護殺人」という痛ましい事件に発展することもあります。逃げ場のない介護生活をしている介護者の誰にも起こり得る危険性があるのです。

介護疲れが理由の殺人事件の発生が続いていることは、社会的にも重大な問題といえるでしょう。これまでに起きた複数の介護殺人事件にみられる共通点が5つあると言われています。

①後追い自殺覚悟で殺害
②2人暮らし世帯
③加害者に障がいがある(病気がある等)
④加害者1人に負担過多
⑤被害者が寝たきり

そこで介護ストレスを軽減するためのヒントですが、

1. 頑張りすぎないこと、適度に息抜きしたり完璧にこなそうとしない。

2. 1人で介護全てを抱え込まない。他の家ではこうなのには家はうまくいかないと他人と比べない。

3. 自分が何にストレスを感じているのかを考える。

4. 誰かに相談し弱音を吐き、心の重荷を楽にする。

5. 休養をしっかり取る。

6. 以上です。介護についてプロの助言やアドバイスの必要となるときは、担当のケアマネジャーや各地域にある地域包括支援センターにご相談ください。

手話を使って世界を広げよう!

こんにちは! 仁愛大学子ども教育学科の3年生です。突然ですが、皆さんは手話を使って話をしたことがありますか?

越前市では、「手話が越前市民にとって当たり前の存在となってほしい」という願いが込められた越前市みんなの心をつなぐ手話言語条例が定められています。私たち自身、手話を使ったことがありませんでした。今回、手話言語条例の存在を通して、手話に興味を持ったため、越前市の手話サークル「パラダイス手話の会」に参加させていただきました。

手話サークルに参加してきました!

手話サークルに参加する前は、手話を使ってコミュニケーションをとることに難しさや不安を感じていました。実際は、とても暖かい雰囲気の中で活動されていて、普段使っている身振りや関連付けられた表現も多く、楽しみながら参加することができました。活動を通して、表情を大切に、相手の思いを理解しようとする姿勢が重要であると教えていただきました。そのため、マスクではなくフェイスシールドなどが必須でした。

今回の体験を通し、手話という言語を通してお互いがつながり合うことの楽しさや喜びを実感し、とても貴重な経験になりました。



ろう者の方が、アコーディオンを演奏してくださいました☆

習った手話で自己紹介! 緊張したけど暖かい拍手がとてもうれしくて♪



手話を使って伝言ゲーム! 上手に手話を伝えられるかハラハラ・ドキドキ

手話をやってみよう!

ありがとう おねがいします



① 右手の小指側で左手の甲を軽くたたいて上に挙げる。(相撲に勝った関取が賞金を貰って手刀を切る仕草から生まれた)

② 鼻の前で握ったこぶしを前に出す。顔の正面から手のひらを前に出し、お辞儀する。

Q & A

- Q. 手話を始めようと思ったきっかけ。
A. 身近に耳が聞こえない方がいて、その方のことを知りたい、楽しく話したいと思ったから。
- Q. 他の国でも手話のやり方は同じなのか。
A. アジアの国々では手話が似ていて通じるが、アメリカやフランスでは手話が異なり通じない。
- Q. バトカーや救急車はどのように呼ぶのか。
A. 「119」というアプリがあり、そのアプリで年齢や症状、場所などを伝えることができる。

後記

今回、手話サークルに参加させていただき、どちらか一方ではなく、お互いに「分かり合いたい、伝え合いたい」という気持ちがあることで、自然と手話ができるようになり、難しいと思う手話も楽しくなると感じました。これからも、手話に限らず、あらゆる人とつながり合う喜びを忘れず、将来子どもたちにも伝えていけるようになりたいです。



【取材・文】北畑七海、久保菜、多田詩央里、戸田真由、中川穂香、渡辺美祐

手話サークル「パラダイス手話の会」の皆さんありがとうございました!

学習支援の現場を見てきました

～コロナ禍の中での子どもの居場所づくり～

仁愛大学子ども教育学科4年 吉田 祥梧

現在越前市では子どもの居場所づくり事業の一環として、笙ネットや自治振興会等の協力のもと市内8地区11か所において学習支援が行われています。私は、その一つ、吉野地区の「片屋! あつまーれ」(片屋町生活改善センター)を訪ねてきました。



- 「片屋! あつまーれ」には、小学校2年生から中学校3年生の児童生徒が集まっています。現在の登録の子どもは18人で、8人の大人スタッフが関わっています。会場の1階に小学生、2階に中学生が分かれて学習していました。週1回、月曜日の午後5時からおむね1時間の学習が行われています。
- 学習の内容は、主に学校の宿題と復習で、特に国語や算数の勉強が多いようです。子どもがドリルやワークブックに書き込むのを大人スタッフが見守るやり方で、間違いなどがあると大人は「ここをもう1回やってみて」などと、丁寧に対応していました。
- 以前は、勉強の時間が終わると、おにぎりや味噌汁を作って提供していたそうですが、現在はコロナ禍において飲食は行わず、持ち帰りのお弁当などで対応しているということでした。また以前は、バーベキューに出かけたり、卓球をしたりしたそうです。しかし、今年はコロナの影響で、こうした子どものレクリエーションの機会もなくなってしまいました。
- 保護者の迎えですべての子どもが帰ると、スタッフはミーティングを行っていました。今日の学習の内容を記録に残すとともに、子どもの状況や最近の学校での様子について意見交換が行われていました。

学習支援への関わりについてスタッフから感想を聞かせてもらいました



子どもは日によって違いはありますが、「わかった!」という声が聞けるとうれしいです。困っていることを一緒に話し合うことによって、解決方法を見つけることができるようになりました。

以前は、学習後のおやつやの時間など子どもたちとの親密な時間が持て、その中で悩み事や困り事を把握できましたが、今はなかなかその時間がとれないのが悩みです。

子どもが情緒不安定になることがあり、対応に苦慮することがありますが、子どもの気持ちを大切に、心が落ち着くような対応を考えながら学習の応援ができるように努めていきたいです。

小・中学校での様子がわかりにくいので、学校側とも連携を強めていきたいです。

アクリル板をおき、距離を取りながら様子を見ていました



1階は主に小学生国語や算数の学習が中心



子どもが帰った後のミーティング



訪問を終えて

子どもとの接触や活動においても大きな制約をかけられている現在、本来の交流の様子が見られなかったことはとても残念でした。しかし、全国的に、コロナの影響で、これまで以上に家庭内での様々なストレスや孤立状態から不適切な養育につながってしまう危険があるという話を耳にする中、「片屋! あつまーれ」では、主任児童委員も関わり、地域の大人たちがボランティアで子どもの居場所をささえていることは、非常に意義深いことだと感じました。指導者の不足といった課題もあり、大学生の参加も期待されていますが、地域で子どもたちを見守り、家族を支援するために、小・中学校はもちろん、関係機関と地域の人たちとの連携や情報共有が一層必要になると感じました。

今回、私は初めての訪問でしたが、コロナ禍による特異な状況にあっても、一人でも多くの子どもに支援が行き届いてほしいという支援者の方々の強い信念をうかがうことができました。

福祉と心理学の接点を探る

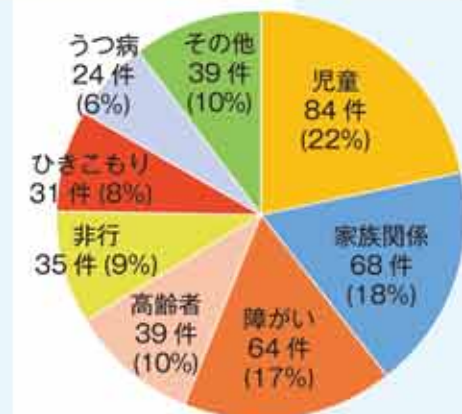
～仁愛大学心理学科3年生の取り組み～

社会福祉に関する卒業研究をまとめると…

仁愛大学の心理学科では、高齢者や障がい者など、社会福祉の対象となる方々の心理的特徴やとりまく環境の問題について、数多くの研究が実施されています。2004年から2018年の15年間で、約1500件もの卒業研究が行われた中で、「社会福祉」に関係するものは全体の約1/4にあたる384件でした。多くの学生が、この分野に関心を持ち、自らの研究テーマに選んでいます。

右の円グラフにあるように、社会福祉関連といっても、その内容は児童問題、家族関係、障がい者心理などさまざまです。

卒業研究を、カテゴリー別にグループ分けしました。下にその一部を紹介します。



社会福祉に関する卒業研究のカテゴリー別割合

児童・親子関係

- 幼児の思いやり行動と親子関係との関連
- 乳幼児との接触体験が感情に与える影響
- 非行少年における心理的特徴の多様性

障がい

- 障がい者理解の現状と展開について
- 障がい児に見られる心理的問題
- 知的障がい者の自己能力評価とパーソナリティ特性

高齢者

- 祖父母との関わりによる若年者の高齢者意識
- 高齢者の主観的幸福度の地域差
- 仕事が高齢者の認知機能に及ぼす影響

うつ病・ひきこもり

- 多様化するうつ病
- ひきこもりと居場所に関する考察
- ニートになる要因と支援活動

ピックアップ卒業研究！

【大学生の知的障がい者に対するイメージと態度】

2019年度 人間学部心理学科卒業論文
澤田 菜生さん

知能発達の遅れ、社会生活への適応困難な状態を示す知的障がいをテーマにした研究を行いました。大学生が持つ知的障がい者に対するイメージや態度が、過去に知的障がいの方と触れ合ってきた経験や障がいに関する知識からどの程度影響を受けるのか調査しました。その結果、幼少期に知的障がいの方と「一緒に遊んだことがある」と回答した人の方が、「メディア等で見た、話を聞いたことはある」人より良好なイメージや態度を示し、早期の直接触れ合った経験が障がい者の理解に重要なことが明らかになりました。

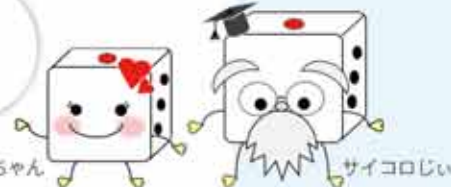
【孫世代である大学生が考える高齢者の役割と幸福】

2019年度 人間学部心理学科卒業論文
花岡 千穂さん

三世代世帯数の低下や孫と祖父母の交流の減少が問題となる中、高齢者と孫世代の結びつきの重要性を明らかにするため、高齢者が孫世代に対し果たす役割と孫世代が望む高齢期像を調べました。その結果、祖父との同居は主に「存在を受容」してくれる感覚を、祖母との同居は祖母のようになりたいという思いや「世代を継承する」感覚を育みやすく、普段の祖父母の健康な姿や充実した生活を目標にすることで、孫世代はその様子に高齢期の幸福を感じることがわかりました。

仁愛大学心理学科のマスコット、サイコロじいどココロンちゃんです!! 心理学は、英語でpsychology (サイコロジー) といいます。

ココロンちゃん



サイコロじい

越前市地域公益活動推進協議会 (愛称: 笹ネット) についてお聞きしました

笹ネットについて

- Q. 笹ネットの活動のきっかけは何ですか
A. 社会のニーズに合った公益活動のためには、都道府県よりも小さな市町村単位での活動が必要だと考え、越前市の社会福祉法人が少しずつ力を出し合うことになったのです。
- Q. どのような活動をされていますか
A. 現在は2つの柱があり、1つは学習支援による子どもの居場所づくり、もう1つは引きこもりの支援です。
- Q. 笹ネットの名前の由来を聞かせてください
A. 雅楽器の笹を構成している17本の竹のように、各法人の音色=特性を大切にしながら、ゆるやかにやっということう意味がこめられています。



笹ネット会長
毫根寺ご住職
藤 光真 先生



学習支援について

- Q. 学習支援の内容について教えてください
A. 市内9か所、勉強をみたり、料理と一緒に作ったりなどの支援をしています。それぞれの場所ごとの雰囲気があり、ゲームや座禅をしているところもあります。
- Q. 学習支援を利用している子どもたちへの想いをお聞かせください
A. それぞれの個性を生かすことを大切にしています。勉強をすることはたいへんだけれど、必ず役に立つから楽しく続けてほしいと思います。

引きこもり支援について

- Q. 引きこもり支援を始めた理由を教えてください
A. 学習支援という身近な活動に続いて、大きな社会問題に焦点を当てようと思い始めました。実際に引きこもり支援の現場を訪ねてみると、想像以上に重い現状がありました。
- Q. 引きこもり支援で大切なことは何でしょうか
A. 引きこもっている本人だけでなく、ご家族もつらい思いをしています。同じ境遇にある人たちとの意見交換の場を設けるなど、長期的な支援を目指して寄り添っていくことで、少しでも力になれるのではないかと思います。

最後に

- Q. 心理学を学んでいる私たちに、メッセージをいただけますか
A. 子どもたちに忍耐強く寄り添える人になってください。そして、「人のことが好きな大人になってほしい」という願いを込めて、子どもたちと接してください。



地域にある「温もり」 - 心理学科生が科学的視点で分析 -



仁愛大学の地域貢献活動として、福井県の特産品やサービスにおける「温もり」を重視した感性評価を行い、それらの価値を理解し、認知度を高めるための研究や活動に取り組んでいます。「温もり」は、人と人との関係、あらゆる場面、もちろん福祉の現場にも求められるものです。手始めとして、越前市の伝統工芸品である越前和紙に着目することにしました。越前和紙はその独特な手触りや見た目から、優しさや温かさを手に取る人や見た人に与えていると思われれます。そこで現在、越前和紙に触れたときの心理的効果を調べています。最近では、さまざまなものに越前和紙が用いられています。越前和紙の「温もり」を科学的に捉えることで、その素晴らしさや新たな可能性を見出すことができると考えられます。

後記

私たちは、心理学キャリアプログラムという心理学の学びと知識を活かしてキャリア形成を目指す特別学習プログラムに参加しています。今回、社協だよりの記事を書くという地域に関わる活動をする機会を得て、大学生という立場から、越前市のこと、社会福祉のこと、そして私たちが学ぶ心理学との接点について考えることができました。ありがとうございました。

【取材・文】上田彩夏、黒田美優、田端芳輝、坪田珠実、浜田一輝、前田美玖、三田村直樹 (仁愛大学人間学部心理学科3年、2020心理学キャリアプログラム参加メンバー)

インタビューを終えて毫根寺の前へ



学生が見て 体験して 感じた社協のとりくみ

ふくしきょういく in 神山小学校



子どもたちに、お年寄りや障がいのある方について学んでもらう福祉教育のとりくみ。今回、神山小学校で行われた、高齢者疑似体験、車椅子体験を同行取材しました。



意識の " 変革 " より意識の " 構築 "

「こんな地域にしたい」と思い描くとき、1番にアプローチすべきは、その地域の未来を担う子どもたちに他なりません。福祉教育は、そのアプローチの手段の1つとして、非常に有効なものだと、今回改めて感じました。

「高齢者に優しいまちづくり」「障がい者に対する差別ゼロへ」といくら謳っても、人々の意識を根底から変えていくことは並大抵のことではないと思います。そこで少し視点を変え、人々の意識を " 構築 " していく方向に舵を切ることが必要となってくると思います。意識の " 構築 " の第一歩が、小学4年生を対象として行われている福祉教育にあたると思います。大人になるにつれて、徐々に考え方は固定化されていき、それを変革するには大変なエネルギーを要します。まだ固定概念というものを持ち合わせておらず、柔軟な姿勢で物事を学ぶことのできる子どもたちに、早いうちから福祉の領域に触れてもらうことが重要となってきます。



Experience



" 体験 " の有効性

今回お邪魔させていただいた神山小学校4年生の皆さんは、高齢者疑似体験、車椅子体験を通して、お年寄りや車椅子の方の大変さを、身をもって感じている様子でした。

大人が「お年寄りに優しくしようね」「車椅子の人は大変な思いをしているんだよ」と説くよりも、子どもたち自身が体験を通して気づきを得る方が、より深く彼らの心に刻まれます。「おじいちゃんおばあちゃんはこのように体が重たいんだ」「車椅子を押してもらってる時に声かけがあるとすごく安心する」。このように、優しい気づきの数々が生まれる場、それが福祉教育だと思います。子どもたち1人1人がその気づきを持ち帰り、日々の生活の中で誰かの役に立つ優しい行動に転換してほしいと思います。

また今回、お年寄り、障がいのある方など、いわゆる当事者の方の参加は叶いませんでしたが、越前市で過去に行われた福祉教育では、車いすを使って生活している方や、視覚障がい者で盲導犬と共に暮らしている方など、様々な背景を持った当事者の方が、子どもたちの講師として参加されていました。当事者本人から、その生活の様子や抱える困難さを聞いて頭で学び、実際の体験を通して体でも学ぶ。この2つを組み合わせたプロセスによって、子どもたちの学びはより深いものになります。



" 身近な存在 " としての認識

当事者の方が抱える悩みとして様々な場面で耳にするのは「周囲からの不理解」「差別」です。当事者からすればこれらの要素は、社会生活を送るうえで大きな " 障がい " として立ちはだかります。そのような " 障がい " を無くしていくことも、福祉教育のもつ影響力の1つだと考えます。

不理解や差別は、当事者に対する「無知」からくるものだと思います。福祉教育は、その「無知」を解消する機会とも捉えられます。当事者の話を聞き、交流し、体験する。その一連の流れの中で子どもたちは当事者を、 " 身近な存在 " として認識することができるのです。自分たちと同じように笑い、悲しみ、生活している、そのような存在と認識することができれば、自ずと思いやりの心は芽生えてくるものだと思います。

今回の取材を通して、福祉教育は、多角的なアプローチによって子どもたちの意識を構築し、彼らが担っていく地域の未来をよりよいものにする、注目すべき事業だと感じました。

